

第4回徳島市立中学校制服のあり方検討委員会 議事録（概要）

日時 令和7年1月30日（木）10時00分～11時40分

場所 徳島市役所11階 教育委員会室

◆ 議 事

（1）生徒意見の集約方法について（基本デザイン説明動画の確認）（資料1）

（委員）

小学校の立場で見たが、動画と説明が合っていてわかりやすかった。ただ、（ジャケットに使用される）2種類の生地の違いがわかりにくかった。例えば、価格の話があれば、高いけれどこんな機能があるなど違いがわかりやすいが、今の動画では両方の生地の良い点だけが紹介されていて悪い点がない。お金を払わない子供たちにとっては、どちらでも構わないと思うが、もし保護者が見た場合に、この生地の方が良さそうだが価格が高いのだろうか、と思ったりするかもしれない。どちらの生地も当然いいと思うが、2種類の生地のそれぞれの良さ、特徴が子供たちにはわかりにくいかなと思う。

（サポートメーカー）

生地が2種類あり、最初はそれぞれの違いを細かく紹介した10分程度の動画にしていたが、事務局と事前に検討した結果、動画が長く内容が難しすぎることから、動画を5分程度にして、文言をわかりやすく作り変えた。

校長会では、よく伸びるほうの生地のみにして、2種類用意する必要はないのでは、という意見も頂戴している。弊社が企画提案のプレゼンテーションの際に、2種類の生地を紹介したので、今回も一応2種類で動画を作成したが、もし1種類だけでよいのであれば、そのように対応することも可能である。

（委員）

保護者は絶対に価格が気になるので、価格について思うところがあると思うが、子供たちにとっては金額が全く関係ないので、（動画で説明する）生地は1種類でもよいのでは。制服を採用するかどうか、好みかどうかなど、純粋に制服について判断してもらうのであれば、生地が2種類あることは関係なく、1種類のほうがシンプルでわかりやすいと思った。（後日）保護者が見るときに、生地の違いと価格を表示できたら、より親切だと思う。

（委員）

2種類を比較するのであれば、ストレッチ性が高い生地と、ストレッチ性は少し劣

るが光沢のある生地、という比較にすればいいのでは。両方ともストレッチが効くという紹介だったので、2種類の生地を比較するとストレッチの幅に違いがあるというのを示しては。そもそも2種類を紹介するほうがいいのか。

(サポートメーカー)

なぜ弊社が2種類の生地で提案したかという、現在の徳島市では、全ての販売店ではないと思うが、学生服とセーラー服が3種類のグレードで販売されているパターンが多く、お客さんが選べるという販売方法があったため、生地2種類、シルエット3種類で提案した。弊社としては1種類でも対応可能なので、1種類にするのか2種類にするのかを事前に選択していただいても問題ない。

(事務局)

現在は2種類の生地で提案されているが、これを標準仕様書に落とすときは、仕様書を2種類作って他のメーカーに提供するという考えでよいか。

(サポートメーカー)

ブレザーに関しては、使用する生地の品番を2種類記載して、他のメーカーに共有しようと考えている。

(事務局)

ということは、サポートメーカーは2種類用意できるが、仕様書を公開した際には、他のメーカーでも同じようなものが2種類展開できるという理解でよろしいか。

(サポートメーカー)

縫製仕様はメーカーによって若干変わってくると思うが、基本的には一緒のものを使って、商品を作ることが可能な形にする。

ただ、販売条件はわからない。例えば、2種類の素材がある場合、2種類とも作成しないといけないようにするのか、メーカーによって、1種類しか作らないことを可とするのかなど、そういったことが、種類が増えれば出てくるかなど。

(事務局)

それをこちらで決めることは考えにくいので、基本的には販売店やメーカーの考え方によると思っている。自由競争が働かないのはよくないので。

(委員長)

大切な課題というか問題だが、安くて機能的にいいものが一番よいが、我々が絶対

に忘れてはいけないことは、そもそも中学校が標準制服を導入することで1人でも助かる人がいることを根底として考えておかなければいけない。市教委が主導でやっている形であるが、本当は各中学校や中学校の代表からこのような声が出てきてもおかしくないような状況であるということを、特に中学校や中学校の先生に知ってもらう必要があると感じた。もう少し遡ると、私はSDGsのバッチを付けているが、国連やSDGsまで遡って、そのようなところまで我々は知っておかなければならないのではないか。その細かな細部として、サポートメーカーが時間取ってやってくれている。学校現場としては、学校長が理解した上で保護者や子供たちには説明をしていく必要があるという気持ちを持っておいてほしい。

(委員)

紹介動画について、2種類の素材の上着を紹介していたが、それを後に1種類にするのか、2種類の選択肢からそれぞれの体型や動きやすさ、光沢やシルエットといったニーズに合わせて選べるようにするかというのは今後の課題であり、現在も制服にいろんな種類があってそれぞれの家庭のニーズに合わせて選択できる状況があるということも踏まえて、考えていく必要がある。ただ、今回のアンケートについては、デザインや使い勝手がどうかについて意見を聞き、どう改善していくかを定めるためのものなので、上着がどんな感じなのかがわかればいいのかと思う。

それと、標準制服が15校に導入されるという断言で紹介されているのがすごく気になった。私が聞いた校長会での話では、今後導入予定であるとか、価格が明確になってから導入するかどうかを決定していきたいという、まだ途中の段階である認識の校長先生もいたので、あえて15校の学校名を出す必要があるのかが気になった。

あと、ネクタイやエンブレムの案について、学校名を出して紹介されていたが、生徒はそれを決定されたものだと思って、「もう決められた」や、自分の学校と他の学校と比べて「何中の色のほうが良い」などの喧々諤々が生まれる可能性がある。最も子供たちの興味関心が高いところだと思うので、学校名の表示をなくすか、こんな例があるという紹介の仕方だとありがたい。間違った情報が一気に拡散するので。

(2) 標準制服デザイン総選挙の進め方について (資料2)

(委員)

期間について、3月10日だと中学校3年生は卒業式が終わっているが、どういうふうに捉えたらよいか。

(事務局)

総選挙の期間をできるだけ早い段階からスタートしたいというふうに考えている

が、資料1で説明した生徒意見の集約期間について、多くの学校でこの動画を見てもらい皆さんから意見を頂戴したいので、学校の朝の会や授業の予定等でなるべく先生方が都合しやすいよう約2週間の期間を取っている。この期間が終わり、総選挙に入るまでの間に生徒意見を集約し、デザインに反映すべきところがあれば反映し、その後総選挙をする必要がある。そのため、もし総選挙の時期を前倒しするのであれば、先生方、学校の都合がよいのであれば、生徒意見の集約期間を短くして、その分総選挙の期間を前倒しすることが可能だが、いかがか。

(委員)

意見の集約については、3年生が参加するという認識が私の中にはあるが、総選挙は3年生を入れる必要があるのか疑問である。というのも、入試で朝の学活もピリピリしている状態で、自分たちが着ない制服を選ぶというのは、今の現場の空気を見たときに、3年生職員も含め、ちょっとタイミングが違うかなと。3年生については、意見集約の対象に入れてもらえるのであれば、総選挙は外しても問題ないかと思う。

(事務局)

総選挙のみ3年生を外して、意見集約は3年生もお願いするという形で考える。

(サポートメーカー)

展示場所について、市役所1階ロビーを含め4ヶ所となっているが、それより少なくなることはあるか。

(事務局)

少なくなることもある。実際に制服を見たい方がなるべく見に行きやすいように、市の西部や南部といった立地を考えて4ヶ所を想定している。ただ、サンプルの数が限られていると思うので、例えば総選挙の期間中の前期と後期で、展示場所を移すということも考えている。また相談させてほしい。

(サポートメーカー)

期間も長くないので、4か所だと難しいかなと。また、相談したい。

(事務局)

基本的には、チラシやタブレットで映像や写真を見て投票してもらうので、どうしても実際に見て触りたい方がいたときに、見に行くことができる状況を作りたいという意図である。

(委員)

デザイン総選挙のときに、生徒が基にする資料はチラシか。

(事務局)

紙媒体かデータかは未定だが、チラシを見てもらうイメージである。

(委員)

市のホームページで動画が見えるとかは。

(事務局)

そのようなことも検討する。

(サポートメーカー)

事務局と相談して、いろいろと考えていきたい。

(事務局)

議題をお戻しして、資料1の生徒意見の集約方法の動画について整理したい。委員からの意見を踏まえ、導入する学校名は動画の方から外し、令和9年4月から市立中学校で導入予定、というような内容に修正する。ワッペンやリボンについても、例とは記載しているが、児童生徒がどうしてもデザインに引っ張られてしまう可能性があるので、学校名を出さずに、3、4種類の例を示してこんな区別の方法があるという内容に修正する。

生地の種類について、先ほど価格帯に応じて保護者が選んでいる現状があるという話があったので、それを踏まえ今回も2種類の生地で、それぞれの生地の強みをわかりやすく差別化ができるよう、紹介の内容を工夫していくのでよろしいか。それとも生地は1種類のほうがよいか。

(委員)

今後、1種類になる可能性があるのであれば、現在着用している制服よりもストレッチが効き、汚れが落ちやすいというような、2種類の生地の特性を総合的に紹介してもよいのでは。

(委員)

2種類にする場合、制服が変わったときに、生徒同士でどちらの制服を着ているかという話になると思う。その際、着ている制服で経済格差が表れてしまうのではとの懸念がある。ただ、現在の制服も、価格やデザインが違っているので、最初だけだとは思いますが。

(委員)

価格ではなくストレッチ機能などのニーズで選んだということになっていくと予測している。1つにしたほうがよいのであれば、それでもよいと思うが。

(委員)

種類を区別せずに機能だけを紹介すると小学生は混乱しないと思う。

(委員)

動画では、ブレザーの工夫している点が分かればよい。別に2つのうち1つを選ぶわけではないので。

(事務局)

もし1種類に決めて欲しいというのであれば、1種類の仕様書で進めていく。動画での紹介は1種類ということで理解したが、実際に店頭に並ぶのは2種類とするか、それも1種類に絞った方がよいのか。

(委員)

ここでは決められない。

(事務局)

現状では、最終的な種類の数は決めず、デザイン総選挙でデザインが決まった後に仕様書を作っていく中で、どうするか再度検討していくのでよろしいか。

(委員)

よいと思う。今回の動画では、2種類の特性をそれぞれ紹介する必要はないと思う。

(事務局)

では、2種類の生地の共通の特徴についての紹介する内容に修正する。動画のデータ容量が相当大きいので、動画の修正確認は事務局に一任させてほしい。

(3) その他

<価格設定について>

(サポートメーカー)

先日の校長会に参加した際、プロポーザルの時もだが、やはり価格の質問を頂戴し

た。その都度、弊社からは、商品が決まらなると価格は言えないとお伝えしている。価格は販売店が決めるものなので、逆に私が答えてしまうと法律的に駄目という話にもなる。しかし、保護者にも説明していかないといけないというのもあり、校長会でも本当に質問が多かった。最終的にワッペンやネクタイを付けるのかというのもある。

また、現在は基本的に、女子はセーラー服とスカート、男子は詰襟とスラックスという2点を揃えれば、制服の中には何を着てもよいが、ブレザーになるとシャツを着る必要があり、さらにネクタイなどのアイテムが増えていくので、追加のお金が発生してしまうという話を校長会ですると、ある校長先生から、「ブレザーとシャツを含めた金額で現在の制服と同じ価格にしてほしい」という意見を頂戴した。

これに関しては、メーカーによっても価格が異なり、また白いシャツについては、スーパーやホームセンターで販売されている商品を買う人も多いと思う。弊社の商品だと高くなってしまいが、それでも一応、現在の制服の価格帯には収まっていると認識してもらいたい。

そして、2月の中旬に、弊社の商品を販売している店のみにはなるが、今の標準制服の進捗状況と価格についての話をしていこうと考えている。弊社と販売店では考え方が少し違うが、せっきく標準制服が採用されたのに、販売店、メーカーや買う方が、これはなんだというようなことにならないように調整していきたい。

(委員長)

時期が来ればわかるのですが、具体的には、シャツやワッペン等も含め、大体いくらくらいの価格になるのか。最終的な価格はお店が決めることにはなるが。

(サポートメーカー)

識別アイテムをどこまで採用するかによる。識別をわかりやすくするほど、価格が高くなる。例えば、ネクタイ、リボンが一番識別が高いアイテムである。次に識別が高いのはワッペンである。ボタンは制服に元から付いているものなので、識別アイテムとして取り入れても価格を高くするつもりはない。

ただ、コストがどんどん上がっているので、現在の制服も、次の新一年生から価格が上がるが、その翌年は価格を据え置きできるかという、約束できないような状況である。もちろん家庭のこともわかるが、コストが上がっていることも少し心に留めておいてほしい。

現在、徳島市立中学校で唯一ブレザーを採用している上八万中学校の制服の価格を参考に目指している。上八万中学校の制服は結構安く出来上がっているのではないかと思います。

(委員)

デザイン総選挙をするときも、価格はわからないのか。

(事務局)

標準制服のデザインの総選挙は他の自治体でも実施されているが、価格は出さずにデザインのみを選んでもらうものである。

(委員)

もし素材を2種類にするのであれば、大まかでもいいので、2つの素材の機能性を比較して、一方の素材は価格がこれくらい高くなるとかを紹介してはどうか。やはり価格について気になっている方は非常に多いのではないかと。

(サポートメーカー)

実は、弊社も基本的にいくらで販売されているかがわからない。各販売店が価格を付けるので、それぞれの考え方が異なる。いろんな販売方法があるので、価格を提示するのは厳しい。2月に販売店と話をするので、いろんな形で検討してみる。

(委員)

デザイン総選挙の段階では、児童生徒の様々な意見を踏まえてデザインを提案し、その中でどのデザインがよいかという、価格がわかるほうがより良いとは思いますが、価格ありきで採用するかしないかを選ぶのではなく、デザインをどれにするかという選挙であると理解した。

ただ、大事なのは総選挙の後、制服の価格もわかり、学校として標準制服を導入するかしないか、導入時期をいつにするかの最終決定をする時期がいつなのかということである。やはり学校としては、学校運営協議会や保護者へのアンケート、子供たちの意見を聞いた上で、最終的に学校長が判断することになるので、その際には価格も必要になると思うが、学校として決定する時期はいつになるのか。

(事務局)

現在考えているのは、3月末にデザイン総選挙で最終のデザインが決定した後、仕様書が公開されるが、それが令和7年度当初だと考えている。その段階で、価格のイメージと最終のデザインを基に学校長にご判断いただく。学校運営協議会等との調整もあるので、日程を少し長く取り、導入する学校では、その後ワッペンやリボン等の識別アイテムについて、生徒たちの意見も踏まえ決定していただく。識別アイテムを決定する期間も、何ヶ月か時間を取り、学校で調整ができるようにしていきたいと考えている。

(委員)

資料4の販売店への通知の中で、令和9年4月から標準制服の着用開始と記載されているが、販売店は全ての学校で一斉に導入されると思うかもしれないので、導入するかどうかの各学校の最終確認の時期についても、お伝えするほうがよいと思う。というのも、販売店からも結構問い合わせが来ているので。最終決定の時期について、校長会の中でも共有されると、ありがたい。まだ予定とのことなので、最終の判断をするのがいつになるのか確認をお願いしたい。

(事務局)

では、次回の校長会で案内する。

(委員長)

事務局とサポートメーカーには、ただいまの協議内容を踏まえた上で、準備を進めてほしい。

徳島市が標準制服を導入するというので、県内23市町村からいろいろと連絡をもらっており、四国の県庁所在地の教育長とも話をしたこともある。動向について非常に注視されていると思われるので、そのことを理解した上で、校長会で話を進めてもらいたい。令和9年4月に、全ての学校が一斉に導入できればと考えている。

(委員)

お願いになるが、安心してスタートはしたものの、2、3年後に大幅に値上げされると、学校としても少し説明しにくいところがあるので、物価の高騰が読めないような情勢ではあるが、できるだけ頑張ってもらいたい。

(サポートメーカー)

販売店にお願いに行くなど、学校や販売店と一緒に話をしながらやっていきたい。

(事務局)

前回の校長会で、シャツを指定してほしいとの話があったので、シャツも含んだ価格についての説明があったが、校長先生としては、価格のこともあるが、生徒指導上でシャツを指定したほうが学校側としては指導しやすいという側面でもあると思う。制服と同じように、シャツも仕様書を作って同時にメーカーに公開するという考え方でよいか。

(サポートメーカー)

そのように対応する。ただ、シャツに関しては、各メーカーでシャツの素材を持っ

ていると思うので、素材を指定せずに、文言でシャツの色や襟の形などを入れた仕様にして、共有する。

(事務局)

おそらく先生側としては、特異な形や、通常ではないボタンやステッチが入っているとか、そういったことを懸念されていると思うので、それについて仕様で指定されていけば解消できるかなと。

それと、校長会の中で、リボンやワッペンなどの付属品を付けた場合に、現在の制服より価格が上回ってしまうのではとの懸念があるという話があったが、それについてはいかがか。単純に、ネクタイやワッペンの価格が現在の制服の価格に上乗せされるという考え方でよいか。

(サポートメーカー)

上回る可能性はある。例えば、ワッペンもネクタイも全部欲しいとなると、やはり高くなる。

(事務局)

ワッペンやネクタイを追加した場合でも、できる限り現在の価格と同程度に近づけてもらいたいところである。

(サポートメーカー)

ある程度の価格がわかった時に、ネクタイやリボン、ワッペンを採用した場合の追加料金についても共有できればと思う。

(事務局)

付属品を付けるか付けないかの話もあるが、生地の種類によっても価格に差が出てくるので、物価変動を見込んだ上で現在の価格の幅がそのまま横方向に進むよう、できる限り上方向に移行しないよう、検討をお願いしたい。

(委員)

校長会で、今日の説明動画を、見させてもらうことは可能か。校長先生も見た方がよくわかると思う。

(サポートメーカー)

対応可能である。

(事務局)

小学校の校長会はどうされるか。

(委員)

可能であるならぜひ見たい。

(副委員長)

確認だが、現在の制服は3種類のグレードがあるが、3月のデザイン総選挙でデザインが決定した後、同じデザインでも機能性等の違いでグレードができるのか。

(サポートメーカー)

グレードの差は素材だけである。仕様やデザインは基本的には同じ形である。そのため、素材も1種類でいいのではないかと、という意見も出ているのだと思う。

(副委員長)

保護者もそれぞれ価値観があり、より安いものを求める人もいれば、高くてもいいものを求める人もいると思うので、グレードや価格に幅があってもいいのでは。1つにしてしまうと、安いものを求める人と高いものを求める人がお互いに合わせないといけないので、グレードはあったほうがいいのかなど。

(サポートメーカー)

ただ、グレードの差はブレザーだけで、スカートやスラックスについては、グレードは発生せず全て一緒になる。

(委員)

先ほどの機能性のところで金額が違ってくるという意味か。

(サポートメーカー)

ブレザーの機能性だけが違ってくる。ズボンやスカートについては一緒の機能性を付ける。

(委員)

ということは、紹介動画の中で、購入する時に選べることを説明したほうがよいのでは。総選挙の時はデザインを選ぶだけだが、それぞれの素材の特徴や機能について紹介して、後で選べるということがわかるほうが良いと思う。

(委員)

最終確認なのだが、基本デザインの説明動画では、素材は1種類を紹介するのか、2種類を紹介するのか。

(事務局)

1種類だけである。

(委員)

素材については、特に紹介しないのか。

(事務局)

ストレッチ性や汚れの落ちやすさという機能性はアピールしていくが、2種類の素材をそれぞれに説明することはせず、新制服を導入したらこういう機能がつくという紹介になる。

(委員)

先ほどの他の委員の意見が反映されていないことが少し気になったので。デザイン総選挙の時に素材を紹介するのかについてはいかがか。今後、2種類の素材を1種類にしていくのか、ニーズに合わせてグレードを用意するのかということを、それまでに意見集約していくという理解でよいか。

(事務局)

デザイン総選挙は、ジャケットとスカートやズボンの色や柄の組み合わせについて、3、4パターンの中でどれがいいかを選んでもらうだけになる。グレードを用意するのか、1種類にするのかということは、今後、校長会等で意向を確認しながら進めたい。

— 終 了 —